

令和 8 年度 専攻科入学者募集要項 入学案内

選抜方法		Web 出願受付	出願書類受付	選抜期日	合格発表日
推薦による選抜 (大学との連携教育 プログラム含む)		令和 7 年 4 月 9 日(水) ～ 令和 7 年 4 月 17 日(木)	令和 7 年 4 月 15 日(火) ～ 令和 7 年 4 月 18 日(金)	令和 7 年 5 月 10 日(土)	令和 7 年 5 月 20 日(火)
学力検査に よる選抜	前期	令和 7 年 5 月 21 日(水) ～ 令和 7 年 5 月 29 日(木)	令和 7 年 5 月 27 日(火) ～ 令和 7 年 5 月 30 日(金)	令和 7 年 6 月 14 日(土)	令和 7 年 6 月 24 日(火)
	後期	令和 7 年 10 月 1 日(水) ～ 令和 7 年 10 月 9 日(木)	令和 7 年 10 月 7 日(火) ～ 令和 7 年 10 月 10 日(金)	令和 7 年 11 月 1 日(土)	令和 7 年 11 月 11 日(火)
社会人特別選抜		令和 7 年 10 月 1 日(水) ～ 令和 7 年 10 月 9 日(木)	令和 7 年 10 月 7 日(火) ～ 令和 7 年 10 月 10 日(金)	令和 7 年 11 月 1 日(土)	令和 7 年 11 月 11 日(火)

独立行政法人 国立高等専門学校機構



鹿児島工業高等専門学校

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

電話 (0995) 42-9014 (学生課教務係)

FAX (0995) 43-2584 (学 生 課)

目 次

教育理念・・・・・・・・・・	1
令和8年度専攻科入学者選抜要項・・	3
Ⅰ．募集人員・・・・・・・・・・	3
Ⅱ．選抜の方法・・・・・・・・・・	3
Ⅲ．推薦による選抜・・・・・・・・	4
1．出願資格・・・・・・・・・・	4
2．出願手続・・・・・・・・・・	4
3．選抜の方法・・・・・・・・・・	6
4．合格者の発表・・・・・・・・	6
5．入学確約書の提出・・・・・	6
6．入学手続・・・・・・・・・・	6
7．推薦による選抜に不合格 なった者の取り扱い・・・・・・・・	6
Ⅳ．九州大学との連携教育 プログラムについて・・・・・・・・	7
1．概要・・・・・・・・・・	7
2．募集人員・・・・・・・・・・	7
3．出願資格・・・・・・・・・・	7
4．出願手続・・・・・・・・・・	7
5．選抜の方法・・・・・・・・・・	7
6．合格者の発表・・・・・・・・	7
7．入学確約書の提出・・・・・	8
8．入学手続・・・・・・・・・・	8
9．個人情報の取り扱いについて・・	8
10．科目一覧について・・・・・・・・	8
11．修了要件及び卒業要件・・・・・	8
12．諸経費・・・・・・・・・・	8
13．高等教育の修学支援新制度 (入学科・授業料の減免、給付奨学金)・・	9
Ⅴ．長岡技術科学大学との連携教育 プログラムについて・・・・・・・・	10
1．概要・・・・・・・・・・	10
2．募集人員・・・・・・・・・・	10
3．出願資格・・・・・・・・・・	10
4．出願手続・・・・・・・・・・	10
5．選抜の方法・・・・・・・・・・	10
6．合格者の発表・・・・・・・・	10
7．入学確約書の提出・・・・・	10
8．入学手続・・・・・・・・・・	11
9．個人情報の取り扱いについて・・	11
10．科目一覧について・・・・・・・・	11
11．修了要件及び卒業要件・・・・・	11
12．諸経費・・・・・・・・・・	11
13．高等教育の修学支援新制度 (入学科・授業料の減免、給付奨学金)・・	11
Ⅵ．学力検査による選抜・・・・・・・・	12
1．出願資格・・・・・・・・・・	12

2．出願手続・・・・・・・・・・	12
3．選抜の方法・・・・・・・・・・	14
4．合格者の発表・・・・・・・・	15
5．入学確約書の提出・・・・・	15
6．入学手続・・・・・・・・・・	15
Ⅶ．社会人特別選抜・・・・・・・・	16
1．出願資格・・・・・・・・・・	16
2．出願手続・・・・・・・・・・	16
3．選抜の方法・・・・・・・・・・	18
4．合格者の発表・・・・・・・・	18
5．入学確約書の提出・・・・・	18
6．入学手続・・・・・・・・・・	18
Ⅷ．その他・・・・・・・・・・	19
1．学力検査による選抜（後期）の 実施の有無について・・・・・・・・	19
2．出願する人の専門分野と志望 する学科の関連について・・・・・	19
3．入学選抜に関する合理的配慮 の提供に関して・・・・・・・・	19
4．検定料について・・・・・・・・	20
5．個人情報の取り扱いについて・・	20
6．Web 出願について・・・・・・・・	21
入学案内・・・・・・・・・・	22
1．設置・・・・・・・・・・	22
2．専攻科の目的等・・・・・・・・	22
3．専攻及び入学定員・・・・・・・・	22
4．修業年限・・・・・・・・・・	22
5．学習・教育到達目標・・・・・・・・	22
6．各専攻の教育の目的・・・・・・・・	22
7．修了要件・・・・・・・・・・	23
8．学士の学位取得方法・・・・・・・・	23
9．入学時に必要な諸経費・・・・・	23
10．高等教育の修学支援新制度 (入学科・授業料の減免、給付奨学金)・・	23
11．奨学金制度・・・・・・・・・・	24
12．科目一覧・・・・・・・・・・	25
13．科目一覧（連携教育プログラム）・・	26

※出願書類用紙

- 専攻科入学志願者調査書（様式1：全学科共通）
- 推薦書（様式2：推薦選抜用）
- 志望理由書（様式3：推薦選抜用）
- 推薦書（様式4：社会人特別選抜用）
- 受験承諾書（様式5：社会人特別選抜用）

教育理念

1. 目 的

専攻科は、準学士課程における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

2. 教育理念

未来の技術を創る人を育てる。

3. 本校のミッション

1. 国際的に通用する創造性豊かで人格が優れた技術者を養成すること
2. 開発型の教育・研究に重きをおき、社会的・経済的価値あるものを創出していくこと
3. 地域の産業、文化あるいは生活を支えていく地域に根差した高専とすること

学習・教育到達目標（専攻科）

1. 人類の未来と自然との共存をデザインする技術者

- 1－1 人類の歴史や文化を理解する。
- 1－2 人間社会と自然環境とのかかわりを理解する。
- 1－3 技術が社会に及ぼす影響を認識し、地球環境に配慮したものづくりが提案できる能力を身につける。

2. グローバルに活躍する技術者

- 2－1 日本について深く認識し、世界的な物事に関心をもつ。
- 2－2 論理的な記述およびプレゼンテーション能力を身につける。
- 2－3 外国語で意思疎通を行う能力を身につける。

3. 創造力豊かな開発型技術者

- 3－1 数学、物理、化学など自然科学の基礎知識を身につける。
- 3－2 自分の必要とするレベルで多様な情報機器を利用する能力を身につける。
- 3－3 専門分野の知識と自主的・継続的に学習する能力を身につけ、与えられた制約下で計画的なものづくりの手法を活かして問題を解決できる能力を養う。

4. 相手の立場に立ってものを考える技術者

- 4－1 人としての倫理観を身につけ、善良な市民として社会生活を営む能力を養う。
- 4－2 技術者が社会に対して負う責任を理解する。
- 4－3 異文化を理解し尊重する。
- 4－4 チームを組み、協力しながら問題の解決に向けて計画し、遂行できる能力を養う。

アドミッションポリシー

I. 求める学生像

本校の専攻科は「環境に配慮したものづくりができる技術者」育成を目指しており、その実現のために専攻科学学生（大学との連携教育プログラムを履修する学生を含む）が達成すべき学習・教育到達目標が定められています。受け入れる人物として(1)本校専攻科が育成を目指す技術者像を十分に理解し、(2)学習・教育到達目標を達成して専攻科を修了できる資質を持った方を求めています。また、(2)については以下のことが求められます。

1. 英語、数学、及び専門とする分野の基礎学力を備えていること
2. 論理的な記述や説明の基礎能力を備えていること
3. 新たな問題に取り組む積極性と計画性を備えていること

II. 入学者選抜の基本方針

・推薦による選抜

入学者の選抜は、出願資格（調査書、推薦書及び志望理由書、TOEIC スコアまたは英検合格証）の内容をもって総合的に判定します。ただし、書類の内容を確認する目的で面接を実施する場合があります。面接を実施する方には、後日、面接を実施する旨を通知します。

・学力検査による選抜

入学者の選抜は、出願書類及び学力検査並びに面接の結果を総合して行います。

・社会人特別選抜

入学者の選抜は、出願書類及び面接の結果を総合して行います。

令和 8 年度 専攻科入学者選抜要項

I. 募集人員

機械・電子システム工学専攻 8 名

電気情報システム工学専攻 8 名

建設工学専攻 4 名

※「大学との連携教育プログラム」による人員を含む。

II. 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜（前期・後期）及び社会人特別選抜とし、次の日程で行います。

選抜区分		選抜期日
推薦による選抜（面接実施の場合）		令和 7 年 5 月 10 日（土）
学力検査による選抜	前期	令和 7 年 6 月 14 日（土）
	後期	令和 7 年 11 月 1 日（土）（注 1）
社会人特別選抜		令和 7 年 11 月 1 日（土）

注 1 学力検査による選抜（後期）は、「推薦による選抜」及び「学力検査による選抜（前期）」による入学予定者の状況により専攻ごとに実施の有無を決定します。実施の有無は、令和 7 年 9 月 5 日（金）までに本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）に掲載します。

Ⅲ. 推薦による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 令和8年3月高等専門学校卒業見込みの者
- (2) 在籍学校長が人物・健康ともに優れていると認め推薦する者
- (3) 本校に合格した場合、確実に入学する意思がある者
- (4) 高等専門学校の第1学年から第4学年の学年末成績の席次率（順位／在籍者数）について次の計算法で計算した結果が0.5以下（小数第2位を切り上げ）の者又は技術士第一次試験に合格した者。

$(1\text{年次の席次率}) \times 0.15 + (2\text{年次の席次率}) \times 0.15 + (3\text{年次の席次率}) \times 0.3 + (4\text{年次の席次率}) \times 0.4$

ただし、第4学年次編入学生にあっては、第4学年の学年末成績の席次率（順位／在籍者数）が0.5以下（小数第2位を切り上げ）の者

第3学年次編入学生の場合は、学生課教務係へご相談ください。

- (5) 英語については、次のいずれかを満たす者
 - ①TOEIC L&R 又は TOEIC L&R IP のスコアが 300 点以上
 - ②実用英検準2級以上
 - ③技術英検2級以上

2. 出願手続

- (1) Web 出願受付 令和7年4月9日(水)午前9時から令和7年4月17日(木)午後4時まで。
- (2) 出願書類受付

期 間 令和7年4月15日(火)から令和7年4月18日(金)まで出願書類受付。

郵送の場合も令和7年4月18日(金)までに必着です。

時 間 午前9時から午後4時まで

場 所 鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

電 話 0995-42-9014

- (3) 志願者による Web 出願

志願者は、Web 出願サイトへの入力及び検定料（16,500 円 ※九州大学との連携教育プログラムへ出願する場合は、30,000 円）の納入を行い、Web 出願サイトから印刷した「写真票」及び出願書類を本校へ提出してください。Web 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(5)に基づき、写真を貼り付けしたうえで、提出してください。

- (4) 出願書類の提出

志願者は、(5)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。

手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和7年4月21日(月)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課教務係まで問い合わせてください。

(5) 出願書類等

志願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

書 類 等	摘 要
写真票	Web 出願手続き完了後に発行される「写真票・受験票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦5cm×横4cm）で出願前3か月以内に撮影したもの。
調査書（様式1）・成績証明書	本校所定の用紙（様式1）に在籍学校長が作成し厳封したもの。 なお、当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。
推薦書（推薦選抜用） （様式2）	本校所定の用紙（様式2）により在籍学校長が作成し厳封したもの。
志望理由書（様式3）	本校所定の用紙（様式3）に記入してください。字数は500字程度とします。
技術士第一次試験合格証	技術士第一次試験合格証又は成績通知書の原本（該当者のみ） ※提出された合格証又は成績通知書は後日、返却します。
次のいずれか一つを提出すること。 ・300点以上のTOEIC L&R テストの公式認定証 ・300点以上のTOEIC L&R IP テストのスコアレポート ・実用英検準2級以上の合格証書又は合格証明書 ・技術英検2級以上の合格証書又は合格証明書	受験日が令和6年4月1日以降のTOEIC L&R IP テストの公式認定証の原本（顔写真付）またはTOEIC L&R IP テストのスコアレポート（個人成績表の原本）を提出してください。複数回受験している場合は、そのうち一つだけを提出してください。 なお、TOEIC L&R IP テストオンラインのスコアについては、本校主催以外は認めません。 実用英検及び技術英検については、合格証書または合格証明書の原本を提出してください。 ※提出された公式認定証等は後日、返却します。
その他	外国籍を有する者は、市町村長の発行する「住民票の写し」等、「永住者」の在留資格がわかるものを提出してください。

(注) 調査書、推薦書及び志望理由書の各様式は本校ホームページ(<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>)の「受験生の方へ」→「募集要項・入試書類」のページよりダウンロードして使用してください。

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合には、受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 受理した出願書類は、返還しません。
- ⑤ 検定料の返還については、20 ページの「Ⅷ. その他」の「4. 検定料について」をご覧ください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書、TOEIC スコアまたは英検合格証等）の内容をもって総合的に判定します。ただし、書類の内容を確認する目的で面接を実施する場合があります。面接を実施する方には、別途面接を実施する旨を通知します。

- (1) 面接を実施する場合の日時及び場所

期 日	実施方法	時 間	場 所
5 月 10 日（土）	面接	9：00～	鹿児島工業高等専門学校

◎面接開始 20 分前までに本校学生課に集合してください。

4. 合格者の発表

合格者の発表は、令和 7 年 5 月 20 日（火）午前 11 時に本校学生課前掲示板に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）に合格者の受験番号を発表します。（掲載期間は 1 週間です。）

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7 年 5 月 30 日（金）までに本校所定の「入学確約書」を鹿児島工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。

なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

6. 入学手続

令和 8 年 3 月初旬に、合格者宛にて別途通知します。

7. 推薦による選抜に不合格となった者の取り扱い

推薦による選抜に不合格となった者で、「学力検査」による選抜を希望する者は、再度、検定料（16,500 円）を振込の上、必要書類を再度、提出してください。（詳細については、「Ⅵ. 学力検査による選抜」を参照ください。）

IV. 九州大学との連携教育プログラムについて

1. 概要

令和8年度に鹿児島工業高等専門学校専攻科へ入学する学生を対象に、鹿児島工業高等専門学校と九州大学工学部融合基礎工学科が連携・協力して教育プログラムを実施します。(以下「連携教育プログラム」という。)

連携教育プログラムの学生は、鹿児島工業高等専門学校専攻科と九州大学双方へ在籍し、双方の教育課程（九大連携教育プログラム用）を受講します。

連携教育プログラムを修了した者は、九州大学から「学位」を授与され、鹿児島工業高等専門学校から専攻科「修了証」が交付されます。

2. 募集人員

機械・電子システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム 若干名
電気情報システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム 若干名

3. 出願資格

4ページの「Ⅲ. 推薦による選抜」の出願資格に記載のとおりとします。

4. 出願手続

①鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜（推薦選抜）

4ページの「Ⅲ. 推薦による選抜」の出願手続きによるものとし、Web出願システム入力の際、大学との連携教育プログラム希望有無において「大学との連携教育プログラム（九州大学）希望」を選択すること。

②九州大学入学者選抜（特別選抜）

「令和8（2026）年度九州大学工学部編入学 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜学生募集要項」によるものとします。

5. 選抜の方法

九州大学は、鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜「推薦選抜」の合格者を対象に、「特別選抜」を実施します。

- ・出願期間：令和7年6月2日（月）～6月17日（火）
- ・選抜方法：口頭試問と提出書類による総合判定

6. 合格者の発表

①鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜（推薦選抜）

- ・発表期日：令和7年5月20日（火）

②九州大学入学者選抜（特別選抜）

- ・発表期日：令和7年7月28日（月）

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、所定の期日までに「入学確約書」を本校へ提出してください。なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

8. 入学手続

合格者あてに、令和8年3月初旬に別途通知します。

9. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、Web 出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用されるとともに、次の目的のためにも利用しますので、ご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請及び奨学金申請の審査
- (3) 単位相互認定を目的とした九州大学への情報提供のため
- (4) 本校及び九州大学、国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

10. 科目一覧について

連携教育プログラムに係る専攻科の科目一覧については、26 ページの「13. 科目一覧（九州大学との連携教育プログラム）」を参照してください。

11. 修了要件及び卒業要件

専攻科が定める修了要件に加え、九州大学の卒業要件（A科目 19 単位以上【※】、B科目 8 単位以上、C科目 30 単位以上、合計 57 単位以上を修得すること。）を満たす必要があります。（A～C科目の分類は 26 ページの「13. 科目一覧（九州大学との連携教育プログラム）」を参照してください。）

なお、専攻科を修了するためには、すべての必修科目を含み 62 単位以上修得する必要があります。

※A科目は、本校専攻科の指定した科目を 24 単位以上修得し、これを九州大学側で 19 単位として一括認定します。

12. 諸経費

項 目	金 額	備 考
検定料	30,000 円	高専へ納付
入学料	282,000 円	大学へ納付
授業料（1 年目）	535,800 円	大学へ納付
授業料（2 年目）	535,800 円	大学へ納付
合 計	1,383,600 円	

13. 高等教育の修学支援新制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

高等教育の修学支援新制度・奨学金制度に係る詳細については、下記にお問い合わせください。

連携教育プログラムに係る高等教育の修学支援新制度・奨学金制度についての問い合わせ先

鹿児島工業高等専門学校 学生課学生係 電話 0995-42-9015

V. 長岡技術科学大学との連携教育プログラムについて

1. 概要

令和8年度に鹿児島工業高等専門学校専攻科へ入学する学生を対象に、鹿児島工業高等専門学校と長岡技術科学大学が連携・協力して教育プログラムを実施します。(以下「連携教育プログラム」という。)

連携教育プログラムの学生は、鹿児島工業高等専門学校専攻科と長岡技術科学大学双方へ在籍し、双方の教育課程（連携教育プログラム用）を受講します。

連携教育プログラムを修了した者は、長岡技術科学大学から「学位」を授与され、鹿児島工業高等専門学校から専攻科「修了証」が交付されます。

2. 募集人員

建設工学専攻 先進テクノロジー実践連携教育プログラム 若干名

3. 出願資格

4ページの「Ⅲ. 推薦による選抜」の出願資格に記載のとおりとします。

4. 出願手続

①鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜（推薦選抜）

4ページの「Ⅲ. 推薦による選抜」の出願手続によるものとし、Web 出願システム入力の際、大学との連携教育プログラム希望有無において「大学との連携教育プログラム（長岡技術科学大学）希望」を選択すること。

②長岡技術科学大学入学者選抜（特別選抜）

長岡技術科学大学第3学年高等専門学校専攻科との連携教育プログラム特別選抜学生募集要項によるものとします。

5. 選抜の方法

長岡技術科学大学は、鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜「推薦選抜」の合格者を対象に、「特別選抜」を実施します。

- ・出願期間：令和7年5月27日(火)～5月29日(木)17時まで（必着）
- ・選抜方法：書類選考

6. 合格者の発表

①鹿児島工業高等専門学校専攻科入学者選抜（推薦選抜）

- ・発表期日：令和7年5月20日(火)

②長岡技術科学大学入学者選抜（特別選抜）

- ・発表期日：令和7年6月12日(木)

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、所定の期日までに「入学確約書」を本校及び長岡技術科学大学へ提出し

てください。

なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

8. 入学手続

合格者あてに、令和8年3月初旬に別途通知します。

9. 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、Web 出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用されるとともに、次の目的のためにも利用しますので、ご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請及び奨学金申請の審査
- (3) 本校及び長岡技術科学大学、国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

10. 科目一覧について

連携教育プログラムに係る専攻科の科目一覧については、27 ページの「科目一覧（長岡技術科学大学との連携教育プログラム）」を参照してください。

11. 修了要件及び卒業要件

専攻科が定める修了要件に加え、長岡技術科学大学の卒業要件（教養科目 14 単位以上、外国語科目 4 単位以上、専門科目 46 単位以上、合計 64 単位以上を修得すること。）を満たす必要があります。

なお、専攻科を修了するためには、すべての必修科目を含み 62 単位以上修得する必要があります。

12. 諸経費

項 目	金 額	備 考
検定料	16,500 円	高専へ納付
入学料	141,000 円	大学へ納付、正規の金額の半額
授業料（1 年目）	267,900 円	大学へ納付、正規の金額の半額
授業料（2 年目）	535,800 円	大学へ納付
合 計	961,200 円	

13. 高等教育の修学支援新制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

高等教育の修学支援新制度・奨学金制度に係る詳細については、下記にお問い合わせください。

連携教育プログラムに係る高等教育の修学支援新制度・奨学金制度についての問い合わせ先

鹿児島工業高等専門学校 学生課学生係 電話 0995-42-9015

VI. 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる専修学校の専門課程を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (7) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

2. 出願手続

- (1) Web 出願受付 前期日程については、令和 7 年 5 月 21 日(水)午前 9 時から令和 7 年 5 月 29 日(木)午後 4 時まで。

後期日程については、令和 7 年 10 月 1 日(水)午前 9 時から令和 7 年 10 月 9 日(木)午後 4 時まで。

- (2) 出願書類受付

期 間 前期日程 令和 7 年 5 月 27 日(火)から令和 7 年 5 月 30 日(金)まで出願書類受付。
郵送の場合も令和 7 年 5 月 30 日(金)までに必着です。

後期日程 令和 7 年 10 月 7 日(火)から令和 7 年 10 月 10 日(金)まで出願書類受付。

郵送の場合も令和 7 年 10 月 10 日(金)までに必着です。

なお、実施の有無は、令和 7 年 9 月 5 日(金)までに本校ホームページ
(<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>) に掲載します。

時 間 午前 9 時から午後 4 時まで

場 所 鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係

〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1

電 話 0995-42-9014

- (3) 志願者による Web 出願

志願者は、Web 出願サイトへの入力及び検定料（16,500 円）の納入を行い、Web 出願サイトから印刷した「写真票」及び出願書類を本校へ提出してください。Web 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(5)に基づき、写真を貼り付けしたうえで、提出してください。

(4) 出願書類の提出

志願者は、(5)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。

手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続きが完了となります。出願手続きを完了していないと受験できませんので注意してください。なお、前期日程については、令和7年6月2日(月)、後期日程については、令和7年10月14日(火)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課教務係まで問い合わせてください。

(5) 出願書類等

志願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

書 類 等	摘 要
写真票	Web 出願手続き完了後に発行される「写真票・受験票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦5cm×横4cm）で出願前3か月以内に撮影したもの。
調査書（様式1）・成績証明書	本校所定の用紙（様式1）に出身または在籍学校長が作成し厳封したもの。なお、当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。ただし、出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書も併せて提出してください。なお、出願資格(4)(5)により出願する者は、資格にかかる最終学校の成績証明書を提出してください。
TOEIC L&R テストの公式認定証 又は TOEIC L&R IP テストのスコアレポート（個人成績表）	受験日が令和6年4月1日以降の TOEIC L&R テストの公式認定証の原本（顔写真付）または TOEIC L&R IP テストのスコアレポート（個人成績表の原本）を提出してください。複数回受験している場合は、そのうち一つだけを提出してください。なお、TOEIC L&R IP テストオンラインのスコアについては、本校主催以外は認めません。 ※提出された公式認定証等は後日、返却します。
その他	外国籍を有する者は、市町村長の発行する「住民票の写し」等、「永住者」の在留資格がわかるものを提出してください。

(注) 調査書の様式は本校ホームページ (<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>) の「受験生の方へ」→「募集要項・入試書類」のページからダウンロードして使用してください。

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合には、受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。

- ④ 受理した出願書類は、返還しません。
- ⑤ 検定料の返還については、20 ページの「Ⅷ. その他」の「4. 検定料について」をご覧ください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類及び学力検査並びに面接の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

学力検査の実施要領は以下のとおりである。

数学、英語、専門科目Ⅰ、専門科目Ⅱの4科目により判定する。数学、専門科目Ⅰ、専門科目Ⅱについては筆記試験を実施する。筆記試験の配点は、各教科100点満点とする。

英語については筆記試験を実施せず、TOEIC スコアを以下の計算式に基づいて評価点に換算する。

$$(\text{計算式}) \text{ 評価点} = (\text{TOEIC スコア} - 240) \times 8 / 24 + 20$$

計算式の評価点が100点以上の場合、評価点は100点とする。ただし、TOEIC スコアが240点未満の場合は計算式とは関係なく評価点は0点とする。

以上、学力検査は数学、英語、専門科目Ⅰ、専門科目Ⅱの4科目を各100点とし、合計400点満点とする。

(2) 数学の出題範囲

微分積分、線形代数

(3) 専門科目の出題範囲

専 攻 名	選択すべき系	検 査 範 囲	
機械・電子システム工学専攻	機械系	専門科目Ⅰ	熱力学、流体工学
		専門科目Ⅱ	材料力学、材料学・機械工作法
	電子制御系	専門科目Ⅰ	電気回路
		専門科目Ⅱ	材料力学
電気情報システム工学専攻	電気電子系	専門科目Ⅰ	電磁気学
		専門科目Ⅱ	電気回路
	情報系	専門科目Ⅰ	論理回路・計算機工学
		専門科目Ⅱ	情報処理・C言語プログラミング
建設工学専攻	建設系	専門科目Ⅰ	構造力学、建設材料学
		専門科目Ⅱ	水理学、土質力学

(4) 学力検査・面接の日時及び会場

期 日	検査科目	時 間	会 場
前期日程 6 月 14 日 (土)	数 学	9 : 00～10 : 00	鹿児島工業高等専門学校
	専門科目Ⅰ	10 : 20～11 : 20	
後期日程 (注1)	専門科目Ⅱ	12 : 40～13 : 40	
11 月 1 日 (土)	面 接	14 : 00～	

※ ① 検査開始 20 分前までに、本校学生課に集合してください。

② 電卓の持ち込みは、不可とします。

ただし、機械・電子システム工学専攻、建設工学専攻は「関数電卓（プログラム機能のないもの）」のみ使用可能とします。メモリは試験開始前にリセットします。

注 1 後期日程の実施の有無は、令和 7 年 9 月 5 日 (金) までに本校ホームページ (<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>) に掲載します。

4. 合格者の発表

合格者の発表は、前期日程については令和 7 年 6 月 24 日 (火)、後期日程については令和 7 年 11 月 11 日 (火)、それぞれ午前 11 時に本校学生課前掲示板に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校ホームページ (<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>) に合格者の受験番号を発表します。(掲載期間は 1 週間です。)

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、前期日程については令和 7 年 7 月 4 日 (金) までに、後期日程については令和 7 年 11 月 21 日 (金) までに、本校所定の「入学確約書」を鹿児島工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。

なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

6. 入学手続

令和 8 年 3 月初旬に、合格者宛にて別途通知します。

VII. 社会人特別選抜

1. 出願資格

所属する企業等の長が勤務成績、人物、健康ともに優れていると認め推薦する者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる専修学校の専門課程を修了した者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) その他本校の専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 出願手続

- (1) Web 出願受付 令和 7 年 10 月 1 日(水)午前 9 時から令和 7 年 10 月 9 日(木)午後 4 時まで
- (2) 出願書類受付

期 間 令和 7 年 10 月 7 日(火)から令和 7 年 10 月 10 日(金)まで出願書類受付。
郵送の場合も令和 7 年 10 月 10 日(金)までに必着です。

時 間 午前 9 時から午後 4 時まで

場 所 鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係
〒899-5193 鹿児島県霧島市隼人町真孝 1460-1
電 話 0995-42-9014

- (3) 志願者による Web 出願

志願者は、Web 出願サイトへの入力及び検定料 (16,500 円)の納入を行い、Web 出願サイトから印刷した「写真票」及び出願書類を本校へ提出してください。Web 出願サイトへ顔写真データをアップロードしていない場合は、(5)に基づき、写真を貼り付けしたうえで、提出してください。

- (4) 出願書類の提出

志願者は、(5)出願書類に基づき、出願書類受付期間に一括して提出してください。

手続きが全て完了すると、申込完了メールが届きますので、そのメール受信をもって出願手続が完了となります。出願手続を完了していないと受験できませんので注意してください。なお、令和 7 年 10 月 14 日(火)を過ぎても申込完了メールが届かない場合は、学生課教務係まで問い合わせてください。

(5) 出願書類等

志願者は、次の書類等を取りまとめ、提出してください。

書 類 等	摘 要
写真票	Web 出願手続き完了後に発行される「写真票・受験票」を印刷し、「写真票」のみ切り取ったもの。顔写真をアップロードしていない場合は、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦 5 cm×横 4 cm）で出願前 3 か月以内に撮影したもの。
調査書（様式 1）・成績証明書	本校所定の用紙（様式 1）に出身または在籍学校長が作成し厳封したもの。なお、当該学校長が作成した成績証明書を添付してください。ただし、出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書も併せて提出してください。なお、出願資格(4) (5)により出願する者は、資格にかかる最終学校の成績証明書を提出してください。
推薦書（様式 4） （社会人特別選抜用）	本校所定の用紙（様式 4）により、所属する企業等の長が作成し厳封したもの。
受験承諾書（様式 5） （社会人特別選抜用）	本校所定の用紙（様式 5）により、所属する企業等の長が作成し厳封したもの。
その他	外国籍を有する者は、市町村長の発行する「住民票の写し」等、「永住者」の在留資格がわかるものを提出してください。

(注) 調査書、推薦書、受験承諾書の各様式は本校ホームページ (<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>) の「受験生の方へ」→「募集要項・入試書類」のページからダウンロードして使用してください。

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合には、受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、返還しません。
- ⑤ 検定料の返還については、20 ページの「Ⅷ. その他」の「4. 検定料について」をご覧ください。

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類及び面接の結果を総合して行います。

社会人特別選抜の日程及び場所

期 日	実施方法	時 間	場 所
11 月 1 日（土）	面接	14：00～	鹿児島工業高等専門学校

◎面接開始 20 分前までに本校学生課に集合してください。

4. 合格者の発表

合格者の発表は、令和 7 年 11 月 11 日(火)午前 11 時に本校学生課前掲示板に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）に合格者の受験番号を発表します（掲載期間は 1 週間です）。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

5. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和 7 年 11 月 21 日(金)までに本校所定の「入学確約書」を鹿児島工業高等専門学校学生課教務係へ提出してください。

なお、所定の期日までに提出しない場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

6. 入学手続

令和 8 年 3 月初旬に、合格者宛にて別途通知します。

VIII. その他

1. 学力検査による選抜（後期）の実施の有無について

学力検査による選抜（後期）は、「推薦による選抜」及び「学力検査による選抜（前期）」による入学予定者の状況により専攻ごとに実施の有無を決定します。実施の有無は、令和7年9月5日（金）までに本校ホームページ（<https://www.kagoshima-ct.ac.jp/>）に掲載します。

2. 出願する人の専門分野と志望する学科の関連について

「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」で出願する人の専門分野は、志望する各専攻と同系統であることが望ましいので、事前にご相談ください。

3. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

鹿児島工業高等専門学校では、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障がい等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障がい等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、以下に示す相談の時期を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。必要に応じて、学生、学生の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1）障がい者手帳の種別・等級・区分認定、2）適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3）標準化された心理検査等の結果、4）専門家の所見、5）中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6）本人が自らの障がいの状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては、提出の要不要に関しても相談窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

ん。

(1) 相談の時期

推薦	令和7年4月8日(火)まで
前期学力	令和7年4月28日(月)まで
後期学力・社会人特別選抜	令和7年9月8日(月)まで

(2) 相談窓口（連絡先）

鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係
電話 0995-42-9014 FAX 0995-43-2584 MAIL kyomu@kagoshima-ct.ac.jp

4. 検定料について

◎願書受付後

出願書類及び検定料は原則として返還しません。ただし、下記に該当した場合は、払込済の検定料を返還しますが、別途手数料を志願者にてご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

(1) 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった、または出願したが受理されなかった）場合

(2) 検定料を二重に振り込んだ場合

※ 願書受付後の返還請求方法

学生課教務係に連絡してください。

相談・問い合わせ先

鹿児島工業高等専門学校 学生課教務係 電話 0995-42-9014

5. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された調査書等に記載されている情報や、Web 出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた試験成績・評価といった入学選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますので、ご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入寮後の教育・指導
- (3) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

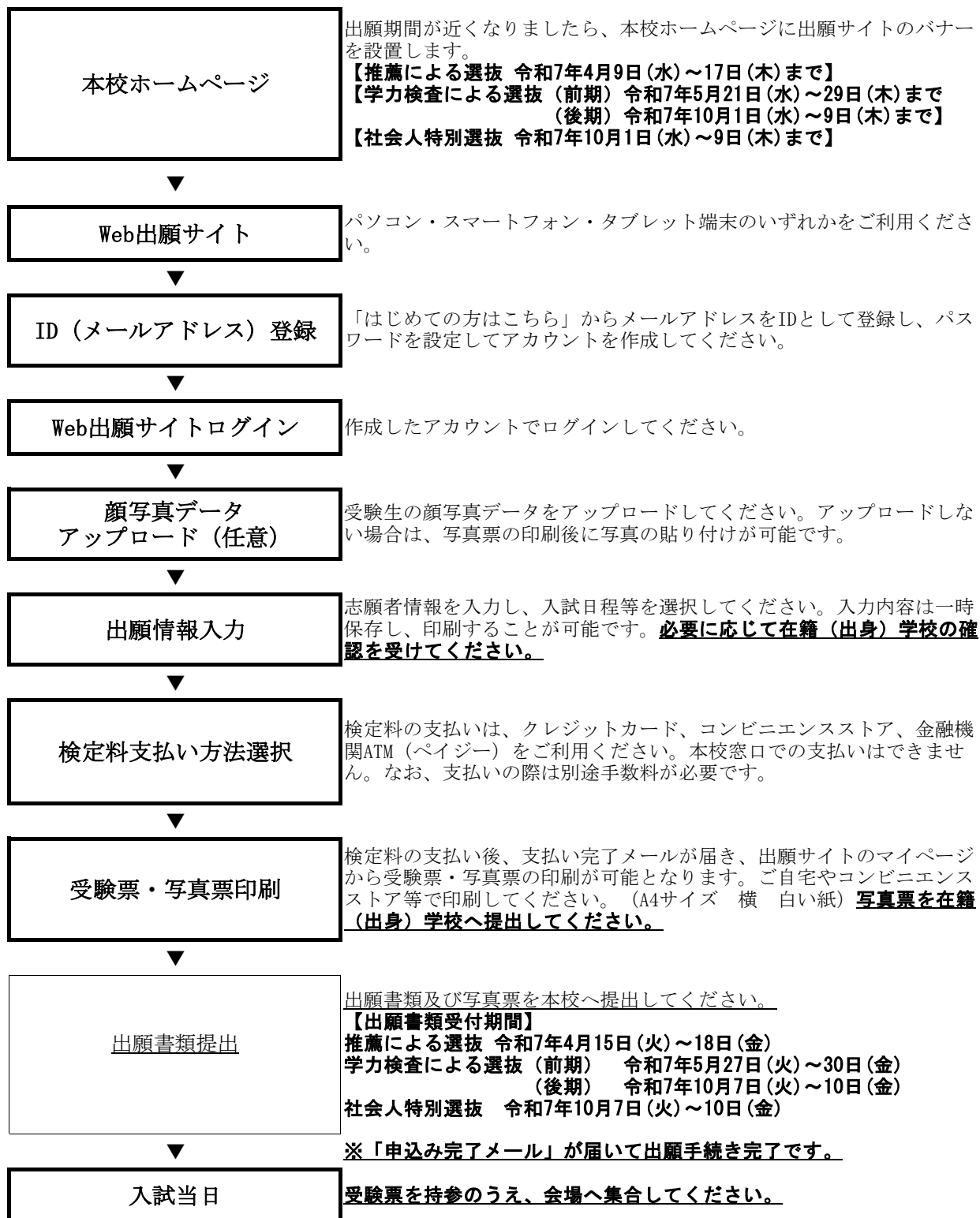
※九州大学との連携教育プログラムに係る個人情報の取扱いについては、8ページの「Ⅳ. 九州大学との連携教育プログラムについて」の「9. 個人情報の取扱いについて」を参照してください。

※長岡技術科学大学との連携教育プログラムに係る個人情報の取扱いについては、11ページの「Ⅴ. 長岡技術科学大学との連携教育プログラムについて」の「9. 個人情報の取扱いについて」を参照してください。

6. Web出願について

推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人特別選抜でWeb出願を行います。パソコン、スマートフォン、タブレット端末から出願サイトにアクセスし、志願者情報の入力・検定料の支払い方法の選択等をWeb上で行った後、写真票・調査書等の必要書類の到着をもって出願完了となります。志願者による手続きの流れは以下のとおりです。

【志願者による手続きの流れ】



【Web出願システムに関するお問い合わせ先】

サポートセンター(出願サイト右下にある「お問い合わせ先」から電話番号を確認してください)

入 学 案 内

1. 設置

平成 12 年 4 月

2. 専攻科の目的等

本校専攻科は、「高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成すること」（学則第 46 条）を目的としています。

3. 専攻及び入学定員

機械・電子システム工学専攻	8 名
電気情報システム工学専攻	8 名
建設工学専攻	4 名

4. 修業年限

修業年限 2 年

5. 学習・教育到達目標

アドミッションポリシーに掲載されています。

6. 各専攻の教育の目的

本校専攻科では、主に高専を卒業した学生を対象としていますが、科学技術の高度化、情報化及び国際化に伴って、技術再教育を希望する企業が派遣する社会人も対象としています。2 年間の技術教育を行い、大学工学部における技術者教育とは異なった視点を持つ個性的で創造性豊かな技術者の育成、国際化に対応できる技術者の育成及び協調性と指導力のある技術者を育成することを目的としています。

(1) 機械・電子システム工学専攻の目的

機械工学、電子制御工学及びそれらを統合した分野において、環境に配慮した高付加価値製品の設計開発技術を有し、実践的に問題解決できる開発型技術者を養成する。

(2) 電気情報システム工学専攻の目的

ハードウェア及びソフトウェア技術からエネルギー、電子材料に至る幅広い分野に精通し、地球環境に配慮した高品質・高付加価値な製品や制御・情報システムの設計・開発ができる開発型技術者を養成する。

(3) 建設工学専攻の目的

- ① 市民が快適で安全な社会生活を送ることができる環境基盤整備を行う工学を学び人間としての倫理観を備えた技術者に成り得る人材を養成する。
- ② 地域に密着した社会基盤の構築に寄与することができる、創造性豊かな開発型技術者に成り得る人材を養成する。

7. 修了要件

専攻科の修了要件は 62 単位です。専攻科の履修科目は一般科目、専門共通科目及び専門科目の 3 段階で構成されています (25 ページの「12. 科目一覧」参照)。

専攻科を修了するためにはすべての必修科目を含み「一般科目」を 8 単位以上、「専門共通科目」を 16 単位以上、「専門科目」を 32 単位以上修得する必要があります。

※九州大学との連携教育プログラムに係る修了要件については、8 ページの「IV. 九州大学との連携教育プログラムについて」の「11. 修了要件及び卒業要件」を参照してください。

※長岡技術科学大学との連携教育プログラムに係る修了要件については、11 ページの「V. 長岡技術科学大学との連携教育プログラムについて」の「11. 修了要件及び卒業要件」を参照してください。

8. 学士の学位取得方法

本校の専攻科に 2 年以上在籍し、62 単位以上修得し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の審査により大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者は学士 (工学) の学位を取得することができます。なお、本校の専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による特例適用専攻科の認定を受けています。

9. 入学時に必要な諸経費

項 目	金 額	備 考
入学料	84,600 円	入学料免除・徴収猶予制度があります。
授業料	年額 234,600 円 前期・後期 117,300 円 (1 ヶ月当り 19,550 円)	在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。 授業料免除制度があります。
教科書代	約 20,000 円	専攻によって多少異なる場合があります。
その他	約 49,000 円	後援会費・後援会入会金・同窓会費等
計	約 268,900 円	

※同窓会費については、本校卒業者は除かれます。

※授業料については、入学時に年額 (234,600 円) を一括納付することができます。

※「九州大学との連携教育プログラム」に係る諸経費等については、8 ページの「IV. 九州大学との連携教育プログラムについて」の「12. 諸経費」を参照してください。

※「長岡技術科学大学との連携教育プログラム」に係る諸経費等については、11 ページの「V. 長岡技術科学大学との連携教育プログラムについて」の「12. 諸経費」を参照してください。

10. 高等教育の修学支援新制度 (入学料・授業料の減免、給付奨学金)

高等教育の修学支援新制度は、意欲のある学生が家計状況等に関わらず安心して学ぶことができるよう、授業料・入学金の免除または減免 (授業料等減免) と給付型奨学金の 2 つの支援を行うものです。

支援対象者は、家計基準及び学力基準等の条件を満たす学生です。令和 7 年度から、子ども 3 人以

上の世帯への授業料等の無償化が拡充されています。

高等教育の修学支援新制度に係る詳細については、文部科学省ホームページや日本学生支援機構ホームページ等でご確認ください。

11. 奨学金制度

奨学金制度とは、学習意欲のある学生に対し、学費や生活費を給付または貸与することにより、経済的負担を軽減するための制度です。日本学生支援機構の奨学金は年に2回、その他奨学金については、都度本校ホームページ等で案内しています。

高等教育の修学支援新制度・奨学金制度についての問い合わせ先

鹿児島工業高等専門学校 学生課学生係 電話 0995-42-9015

12. 科目一覧

機械・電子システム工学専攻				電気情報システム工学専攻				建設工学専攻			
区分	必／選	授 業 科 目	単位数	区分	必／選	授 業 科 目	単位数	区分	必／選	授 業 科 目	単位数
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2	一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2	一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2
		総 合 英 語	2			総 合 英 語	2			総 合 英 語	2
		履 修 単 位 数	4			履 修 単 位 数	4			履 修 単 位 数	4
	選択科目	科 学 技 術 英 語	2		選択科目	科 学 技 術 英 語	2		選択科目	科 学 技 術 英 語	2
		論理的英語コミュニケーション	2			論理的英語コミュニケーション	2			論理的英語コミュニケーション	2
		現 代 企 業 法 論	2			現 代 企 業 法 論	2			現 代 企 業 法 論	2
		国 際 関 係 論	2			国 際 関 係 論	2			国 際 関 係 論	2
		開 講 単 位 数	8			開 講 単 位 数	8			開 講 単 位 数	8
		履 修 単 位 数	4以上			履 修 単 位 数	4以上			履 修 単 位 数	4以上
専門共通科目	必修科目	環 境 物 理 化 学	2	専門共通科目	必修科目	環 境 物 理 化 学	2	専門共通科目	必修科目	環 境 物 理 化 学	2
		環 境 科 学	2			環 境 科 学	2			環 境 科 学	2
		環境創造工学プロジェクト	2			環境創造工学プロジェクト	2			環境創造工学プロジェクト	2
		環 境 電 磁 気 学	2			環 境 電 磁 気 学	2			環 境 電 磁 気 学	2
		環 境 人 間 工 学	2			環 境 人 間 工 学	2			環 境 人 間 工 学	2
		環 境 機 械 工 学	2			環 境 機 械 工 学	2			環 境 機 械 工 学	2
		履 修 単 位 数	12			履 修 単 位 数	12			履 修 単 位 数	12
	選択科目	微 分 方 程 式	2		選択科目	微 分 方 程 式	2		選択科目	微 分 方 程 式	2
		ベ ク ト ル 解 析	2			ベ ク ト ル 解 析	2			ベ ク ト ル 解 析	2
		複 素 関 数 論	2			複 素 関 数 論	2			複 素 関 数 論	2
		線 形 代 数 学	2			線 形 代 数 学	2			線 形 代 数 学	2
		解 析 力 学	2			解 析 力 学	2			解 析 力 学	2
		量 子 力 学	2			量 子 力 学	2			量 子 力 学	2
		地 球 物 理 学 概 論	2			地 球 物 理 学 概 論	2			地 球 物 理 学 概 論	2
		生 産 加 工 学	2			生 産 加 工 学	2			生 産 加 工 学	2
		安 全 衛 生 工 学	2			安 全 衛 生 工 学	2			安 全 衛 生 工 学	2
		ヒューマンインターフェース	2			ヒューマンインターフェース	2			ヒューマンインターフェース	2
		技術者の社会的責任	2			技術者の社会的責任	2			技術者の社会的責任	2
		環境創造工学特別講義	1			環境創造工学特別講義	1			環境創造工学特別講義	1
		開 講 単 位 数	23			開 講 単 位 数	23			開 講 単 位 数	23
		履 修 単 位 数	4以上			履 修 単 位 数	4以上			履 修 単 位 数	4以上
専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4	専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4	専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4
		特 別 研 究 II	10			特 別 研 究 II	10			特 別 研 究 II	10
		特 別 セ ミ ナ ー	2			特 別 セ ミ ナ ー	2			特 別 セ ミ ナ ー	2
		履 修 単 位 数	16			履 修 単 位 数	16			履 修 単 位 数	16
	選択科目	伝 熱 工 学 特 論	2		選択科目	応 用 電 子 物 性	2		選択科目	マトリックス構造解析	2
		流 体 工 学 特 論	2			電 力 シ ス テ ム 解 析	2			連 続 体 力 学	2
		流 体 力 学 特 論	2			電 子 回 路 解 析	2			廃 棄 物 工 学	2
		材 料 物 性 工 学	2			マルチメディア工学	2			環 境 流 体 輸 送 特 論	2
		弾 性 力 学	2			ニューラルネットワーク	2			環 境 生 物 学	2
		メカトロニクス特論	2			生 体 情 報 学	2			地 盤 防 災 工 学 特 論	2
		制 御 工 学 特 論	2			画 像 処 理 基 礎	2			建 設 材 料 学	2
		計 測 制 御 工 学	2			ネットワークアーキテクチャ	2			デ ザ イ ン 論	2
		知 能 情 報 処 理 論	2			電 気 電 子 工 学 特 別 演 習	1			都 市 計 画 特 論	2
		リハビリテーション工学	2			情 報 工 学 特 別 演 習	1			都 市 計 画 演 習	1
		電 気 回 路 特 論	2			数 理 計 画	2			建設工学特別演習Ⅰ	1
		機械・電子システム工学特別演習Ⅰ	1			通 信 工 学	2			建設工学特別演習Ⅱ	1
		機械・電子システム工学特別演習Ⅱ	1			特 別 実 習 A（4週間）	4			特 別 実 習 A（4週間）	4
		機械・電子システム工学特別演習Ⅲ	1			特 別 実 習 B（2週間）	2			特 別 実 習 B（2週間）	2
		特 別 実 習 A（4週間）	4			電気情報システム工学特別講義Ⅰ	2			建設工学特別講義Ⅰ	2
		特 別 実 習 B（2週間）	2			電気情報システム工学特別講義Ⅱ	2			建設工学特別講義Ⅱ	2
		機械・電子システム工学特別講義Ⅰ	2			開 講 単 位 数	32			開 講 単 位 数	31
		機械・電子システム工学特別講義Ⅱ	2			履 修 単 位 数	16以上			履 修 単 位 数	16以上
		開 講 単 位 数	35			開講単位数合計	95			開講単位数合計	94
		履 修 単 位 数	16以上			履修単位数合計	62以上			履修単位数合計	62以上
		開講単位数合計	98								
		履修単位数合計	62以上								

(注) 令和7年度入学者の科目一覧を掲載しており、変更になる可能性があります。

13. 科目一覧（九州大学との連携教育プログラム）

機械・電子システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム					電気情報システム工学専攻 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム					九州大学開講科目						
区分	必／選	授 業 科 目	単位数	科目群	区分	必／選	授 業 科 目	単位数	科目群	区分	必／選	科目名	単位数	科目群		
一般科目	必修科目	総 合 英 語	2	A	一般科目	必修科目	総 合 英 語	2	A	専門科目	必修	融合工学概論Ⅰ	2	C		
		国 際 関 係 論	2	A			国 際 関 係 論	2	A			融合工学概論Ⅱ	2	C		
		履 修 単 位 数	4	×			履 修 単 位 数	4	×		選択	先端計測科学	1	C		
	選択科目	技 術 倫 理	2			選択科目	技 術 倫 理	2				エネルギー・環境学A	1	C		
		科 学 技 術 英 語	2	※C			科 学 技 術 英 語	2	※C			エネルギー・環境学B	1	C		
		論理的英語コミュニケーション	2				論理的英語コミュニケーション	2				半導体・デバイス工学A	1	C		
		現 代 企 業 法 論	2				現 代 企 業 法 論	2				半導体・デバイス工学B	1	C		
		開 講 単 位 数	8	×			開 講 単 位 数	8	×			プラズマ応用工学	1	C		
専門科目	必修科目	特 別 研 究 Ⅰ	4	B	専門科目	必修科目	特 別 研 究 Ⅰ	4	B	情報系	選択	融合応用情報学A	1	C		
		特 別 研 究 Ⅱ	10	※C			特 別 研 究 Ⅱ	10	※C			融合応用情報学B	1	C		
		特 別 実 習 B（2週間）	2	※C			特 別 実 習 B（2週間）	2	※C			融合応用情報学C	1	C		
		知 能 情 報 処 理 論	2	B			ニューラルネットワーク	2	B			融合応用情報学D	1	C		
		ヒューマンインターフェース	2	B			ヒューマンインターフェース	2	B			専門科目	選択	融合基礎工学特別講義A	1	C
		履 修 単 位 数	20	×			履 修 単 位 数	20	×	融合基礎工学特別講義B	1			C		
	専門を広げる科目（4単位以上）	環 境 科 学	2	A		専門を広げる科目（4単位以上）	環 境 科 学	2	A	産学連携	選択	知的財産論	1	C		
		環境創造工学プロジェクト	2	A			環境創造工学プロジェクト	2	A			マネージメント論	1	C		
		微 分 方 程 式	2	A			微 分 方 程 式	2	A			マーケティング論	1	C		
		ベ ク ト ル 解 析	2	A			ベ ク ト ル 解 析	2	A	PBL	選択	インターンシップⅠ（長期）	2	C		
		線 形 代 数 学	2	A			線 形 代 数 学	2	A			価値創出プロトタイピング入門	1	C		
		複 素 関 数 論	2	A			複 素 関 数 論	2	A			デザイン思考エンジニアリング	1	C		
		地 球 物 理 学 概 論	2	A			地 球 物 理 学 概 論	2	A	PBL	必修	融合工学実践セミナー（連携）	1	C		
		技術者の社会的責任	2	A			技術者の社会的責任	2	A			研究プロジェクト（連携）	4	C		
		環境創造工学特別講義	1	A			環境創造工学特別講義	1	A	PBL	必修	グローバル科目Ⅰ（論文）	1	C		
		機械・電子システム工学特別講義Ⅰ	2	A			電気情報システム工学特別講義Ⅰ	2	A			グローバル科目Ⅱ（討論）	1	C		
	専門進化科目（4単位以上）	特 別 セ ミ ナ ー	2	A		専門進化科目（4単位以上）	特 別 セ ミ ナ ー	2	A	PBL	必修	卒業研究	6	C		
		流 体 工 学 特 論	2	A			応 用 電 子 物 性	2	A			開講単位数合計	36	×		
		弾 性 力 学	2	A			電力システム解析	2	A				履修単位数合計	30以上	×	
		制 御 工 学 特 論	2	A			電 子 回 路 解 析	2	A							
計 測 制 御 工 学		2	A	生 体 情 報 工 学	2		A									
電 気 回 路 特 論		2	A	画 像 処 理 基 礎	2		A									
機械・電子システム工学特別演習Ⅰ		1	A	電 気 電 子 工 学 特 別 演 習	1		A									
機械・電子システム工学特別演習Ⅱ		1	A	情 報 工 学 特 別 演 習	1		A									
機械・電子システム工学特別演習Ⅲ		1	A	数 理 計 画	2		A									
環 境 物 理 化 学		2	※C	環 境 物 理 化 学	2		※C									
選択科目		環 境 電 磁 気 学	2		選択科目		環 境 電 磁 気 学	2								
		環 境 人 間 工 学	2				環 境 人 間 工 学	2								
		環 境 機 械 工 学	2				環 境 機 械 工 学	2								
		解 析 力 学	2				解 析 力 学	2								
	量 子 力 学	2		量 子 力 学		2										
	生 産 加 工 学	2		生 産 加 工 学		2										
	安 全 衛 生 工 学	2		安 全 衛 生 工 学		2										
	伝 熱 工 学 特 論	2		マルチメディア工学		2										
	流 体 力 学 特 論	2		ネットワークアーキテクチャ		2										
	材 料 物 性 工 学	2		通 信 工 学		2										
	メ カ ト ロ ニ ッ ク ス 特 論	2		特 別 実 習 A（4週間）		4										
	リハビリテーション工学	2		電気情報システム工学特別講義Ⅱ		2										
	特 別 実 習 A（4週間）	4		九州大学での修得科目		14	※C									
	機械・電子システム工学特別講義Ⅱ	2		開 講 単 位 数		77	×									
	開講単位数合計			112		×	開講単位数合計			109	×					
	履修単位数合計			62以上		×	履修単位数合計			62以上	×					

○ A科目 … 本校専攻科で受講する科目

○ B科目 … 高専専攻科で受講する九州大学と共同で行う科目

○ C科目 … 九州大学で受講する科目

○ ※C科目 … C科目の中で代替可能となる科目

- A科目 … 本校専攻科で受講する科目
- B科目 … 高専専攻科で受講する九州大学と共同で行う科目
- C科目 … 九州大学で受講する科目
- ※C科目 … C科目の中で読替可能となる科目

科目一覧（長岡技術科学大学との連携教育プログラム）

建設工学専攻 先進テクノロジー実践連携教育プログラム			
区分	必修／選	授 業 科 目	単位数
一般科目	必修科目	技 術 倫 理	2
		総 合 英 語	2
		履 修 単 位 数	4
	選択科目	科 学 技 術 英 語	2
		論理的英語コミュニケーション	2
		現 代 企 業 法 論	2
		国 際 関 係 論	2
		開 講 単 位 数	8
専門科目	必修科目	特 別 研 究 I	4
		特 別 研 究 II	10
		特 別 セ ミ ナ ー	2
		特 別 実 習 A（4週間）	4
		環 境 物 理 化 学	2
		環 境 科 学	2
		環境創造工学プロジェクト	2
		履 修 単 位 数	26
	選択科目	環 境 電 磁 気 学	2
		環 境 人 間 工 学	2
		環 境 機 械 工 学	2
		微 分 方 程 式	2
		ベ ク ト ル 解 析	2
		複 素 関 数 論	2
		線 形 代 数 学	2
		解 析 力 学	2
		量 子 力 学	2
		地 球 物 理 学 概 論	2
		生 産 加 工 学	2
		安 全 衛 生 工 学	2
		ヒューマンインターフェース	2
		技術者の社会的責任	2
		環境創造工学特別講義	1
		マトリックス構造解析	2
		連 続 体 力 学	2
		廃 棄 物 工 学	2
		環 境 流 体 輸 送 特 論	2
		環 境 生 物 学	2
		地 盤 防 災 工 学 特 論	2
		建 設 材 料 学	2
		デ ザ イ ン 論	2
		都 市 計 画 特 論	2
		都 市 計 画 演 習	1
		建設工学特別演習Ⅰ	1
		建設工学特別演習Ⅱ	1
		特 別 実 習 B（2週間）	2
		建設工学特別講義Ⅰ	2
		建設工学特別講義Ⅱ	2
		建設工学特別講義Ⅲ	2
		建設工学特別講義Ⅳ	2
開 講 単 位 数	60		
開講単位数合計			98
履修単位数合計			62以上

（注）令和7年度入学者の科目一覧を掲載しており、
変更になる可能性があります。

(様式 1)

令和8年度 鹿児島工業高等専門学校

全 選 抜 共 通

専攻科入学志願者調査書

志 望 専 攻 名	工学専攻		受 験 番 号	※	
ふ り が な					男 ・ 女
氏 名					
生 年 月 日	年 月 日生				
学 校 (学 科)	国立・公立・私立 ()学科		年 月 卒業・卒業見込み 修了・修了見込み		
成 績 証 明 書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成したものを添付してください。 (成績の評価を評語で記入の場合は、評語の評点基準を明示してください。)				
学 科 内 席 次 (学 年 末)	1年	人中	位	4年	人中 位
	2年	人中	位	5年	人中 位
	3年	人中	位		
卒 業 研 究 題					
在 学 中 の 状 況					
上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日 学校名 学校長名 印					

在学中の状況欄には、人物・課外活動・生活態度等を記入してください。

※印欄は記入しないでください。

(様式 2)

推薦選抜用

推薦書

受験番号	※
------	---

年 月 日

鹿児島工業高等専門学校長 殿

所在地:

学校名:

学校長:

印

(注1)

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校専攻科入学者としてふさわしい
資質をもつ者として認め推薦します。

記

推薦学生氏名: _____
志望専攻名: _____ 工学専攻
出身学科: _____
卒業見込年月日: _____ 年 月 日

推薦書記入者の 職・氏名	
特別研究指導予定 教員職・氏名	

推薦 事由	
その他 参考事項	

(注1) 鹿児島工業高等専門学校からの推薦者である場合は学科長名を記入すること。

(注2) 推薦書の記入者は、卒業研究指導教員又は学級担任とします。

※印欄は記入しないでください。

推薦選抜用

志 望 理 由 書

受 験 番 号 ※

志望専攻名

工学専攻

氏名(ふりがな)	生 年 月 日	出身学校名及び卒業(見込)年月
	年 月 日生	高等専門学校
		年 月 卒業・卒業見込

※印欄は記入しないでください。
字数は500字程度とします。

(様式 4)

社会人特別選抜用

推 薦 書

受験番号

※

年 月 日

鹿児島工業高等専門学校長 殿

企業等名

所属長名

印

下記の者は、工学専攻へ入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

志 願 者 氏 名

生 年 月 日

年 月 日

所 属 部 ・ 課

人 物	
勤 務 態 度	
志 望 専 攻 に 対 する 適 性	
専 攻 を 希 望 す る 動 機 ・ 理 由	

※印欄は記入しないでください。

(様式 5)

社会人特別選抜用

受 験 承 諾 書

受験番号

※

年 月 日

鹿児島工業高等専門学校長 殿

企業等名
所属長名

印

下記の者が貴校の専攻科社会人特別選抜検査を受験することを承諾いたします。

記

志願者氏名

生 年 月 日

年 月 日

所属部・課

※印欄は記入しないでください。